

アウトドア科目 学びの成果



「アウトドアⅠ、Ⅱ」の活動成果報告会で
発表する南富良野高生たち

南富良野高生が発表 地域課題 的確に指摘

【南富良野】南富良野高（能登啓児校長）で、学校設定科目「アウトドア」の活動成果報告会が行われ、1年生16人、2年生3人が、町民らを前に町の課題やアンケート結果などを発表した。

「アウトドア」科目は、カヌーや釣り、キャンプといった町内で盛んなアウトドアを教材に観光や地域振興についても考える。2021年度に1年生の「アウトドアⅠ」、22年度は2年生の「アウトドアⅡ」が始まった。

20日の発表で1年生は、町内のホテルや道の駅利用者へのアンケートで夜間に営業している店が少ないという声を元に「営業時間の

工夫や無人販売、自販機の設置」を提案。冬のイベントを企画、開催した2年生は、細かいルール作りの難しさなどを感じながら「来場者の満足度は高くこうしたイベントは求められている」と、次年度の開催を後輩に期待した。

会場には高橋秀樹町長ら町民約40人の姿も。ホテル「フェアフィールド・バイ・マリオット北海道南富良野」の富山裕史支配人（42）は、「町内にドラッグストアがあればいい」という生徒の意見を聞き「海外の宿泊客からも同じことを言われる」と、生徒たちの感覚に感心していた。

（中元克治）

令和5年（2023年）3月23日

北海道新聞朝刊